

資料2

意味を確認 ～ クラウドサービスとは ～

研修会では、先生方から多くのご質問をいただきます。その中で言葉に対する質問があります。ICTに関する言葉はカタカナやアルファベットで表記されるものが多く、何となく使っているというものも少なくありません。その中から、今回は「クラウドサービス」について確認してみましょう。以下は、文部科学省「情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和4年3月)」を参考に筆者がまとめたものです。

★クラウドサービスとは・・・

これまで、ソフトウェアやデータは手元のコンピュータの中に保存されていました。これらをネットワーク上のサーバに保存して、必要に応じて利用する方法がクラウドサービスです。利用者側が最低限の環境(パソコンや携帯情報端末などのクライアント、その上で動く Web ブラウザー、インターネット接続環境など)を用意することで、どの端末からでも、様々なサービスを利用することができます。

クラウドがなかった時代には、データはコンピュータのハードディスクや、フロッピーディスク、USB メモリなどの媒体に保存していました。しかし、クラウドサービスが利用できるようになった昨今では、Google ドライブなどにデータを保存することができるようになりました(例: 県域で導入している Google Workspace)。また、データの保存だけでなく、アプリケーションや電子メールなども、手元のコンピュータにダウンロードや保存する必要がなく、クラウドサービスを利用できるようになりました。

★クラウドサービスのメリット

- ①効率性の向上: 教育委員会自らがサーバ等を用意する(オンプレミス) 必要がない
- ②セキュリティ水準の向上: クラウド事業者が情報セキュリティ対策を一定程度委ねることができる
- ③技術革新対応力の向上: 日進月歩で進化する新しいサービスの取り入れが容易
- ④柔軟性の向上: 途中からのリソース拡張や機能追加が容易
- ⑤可用性・完全性の効率的確保: 災害等による情報の破損・消失リスクの低減
- ⑥保守・運用稼働の削減: 情報システムの保守・運用についての教育委員会・学校負担の軽減

「インターネット上にデータを保管する」と聞くと、漠然と不安を感じている方も多いかもしれません。「データを預けている」という事例は、実は身近にたくさんあります。たとえば銀行がそうです。漠然とした不安で拒絶するのではなく、適切な環境下において、特性を理解して使うことが重要です。

最新情報

全国学力・学習状況調査授業アイデア例 × StuDX Style

国立教育政策研究所では、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた「授業アイデア例」を平成 21 年度より作成して、学校や教育委員会などに配布しています。令和4年度からは、更に「授業アイデア例」を報告書に掲載して、調査結果の課題分析と課題の解決を図る事例を一体的に示しています。

「全国学力・学習状況調査授業アイデア例×StuDX Style」は文部科学省「StuDX Style」のウェブサイトに 10 月 12 日に掲載されました。全国学力・学習状況調査の実施教科に合わせて、小学校国語科・小学校算数科・小学校理科・中学校国語科・中学校数学科・中学校理科がそれぞれ PDF ファイル 1 ページにまとめられていますので、ぜひ参考にしてください。



出典) StuDX Style ウェブサイト

編集後記

「Mナビ新聞-情報教育通信-第9号」はいかがだったでしょうか?今回は、県内の先生方のご意見を参考に、ICT活用を進める上での基本に立ち返って紙面を構成しました。令和4年も残すところあとひと月。ICT活用を振り返りながら、ご自身の授業や学級経営などを振り返るよい機会にしてほしいです。

第9号担当:遊佐